



# 進路だより

令和2.6.17  
第1学年 3号  
安古市高校進路指導部

6月1日からようやく学校が再開しましたね。まずは、生活リズムを整えることに苦労している人もいないでしょうか。一日3時間以上・週21時間以上の学習時間が確保できるように生活リズムを整え、3点固定（起床時間・学習開始時間・就寝時間）を心がけましょう。

1学期中間考査がなくなり、期末考査に向けて不安もあるでしょう。期末考査の後7月18日には進研記述模試もあります。今日の進路LHRで学習したことを生かし、学習習慣を確立し集中力を高めましょう。

## <3年間の見通しを持とう>

大学入学共通テスト  
5教科7or8科目

|      |   | 1年  |     |     | 2年  |     |     | 3年  |     |     |
|------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|      |   | 1学期 | 2学期 | 3学期 | 1学期 | 2学期 | 3学期 | 1学期 | 2学期 | 3学期 |
|      |   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   |
| (中間) | 表 |     |     |     |     |     |     |     |     | X   |
| (期末) | 裏 |     |     |     |     |     |     |     |     | X   |

高校3年間の野球のスコアに例えてみると、「5回裏」からはもう受験生です。本当の勝負が始まるわけですから、「5回」終了までに英数国の基礎を固めておかなければ勝負になりません。このことは大学受験における常識ですから、各教科の先生方は「5回」から逆算して授業や週末課題・小テストで基礎力が身に付くよう工夫を凝らしています。基礎力を身に付けるチャンスを、みすみす逃す手はありません。「今」付けるべき力は「今」付けておくしかありません。後で取り返そうと思うと、「今」要る努力に比べて数倍の努力が必要になります。

修学旅行（10月）が終われば、「受験生」としてスタート！  
理科・社会も模試に入ってくる。

## <期末考査に向けて>

学習の成果をはかる次の機会となる1学期期末考査は、1ヶ月先です。今順調に学習ができていても、改善した学習をこれから実践しようという人も、これまで以上に学習習慣を身に付け継続することが難しい状況になります。そこで、1ヶ月先までの計画を立ててみましょう。<3年間の見通しを持とう>も、3年間の大きな計画表の一つです。その大きな計画表を、1, 2, 3年生と区切って、さらにそれを学期ごと、そして1ヶ月単位に区切ってみるわけです。

今年のように休校があると、どうしても「できる時に勉強をやって、できない時は仕方ない」と考えてしまいがちです。それでは、「5回」終了までに間に合いません。休校中の遅れを取り戻すためにも、計画を立てて取り組むことが必要です。計画を立てる際に目標となる「一日3時間×7日＝週21時間」を使えば、無理のない計画を立てることができます。そして、3点固定（起床時間・学習開始時間・就寝時間）を徹底することができれば、計画は実行できるはずで、学習習慣をさらに身に付けるにはどうすればよいかを考えて本日配付する「1学期期末考査」を、完成させましょう。

## <文理選択に向けて>

6月10日の学年集会で文理選択について話がありました。将来についてまだ考えていない人が多いのではないのでしょうか。しかし、文理選択はもう目の前に迫っています。

文理選択は、進路選択の第一歩。ポイントを押さえて検討し、後悔のない選択をしよう。

### 【ポイント1】就きたい仕事を考える。

10年後の自分を想像してみよう。ほとんどの人は社会人になって仕事をしている自分をイメージすることだろう。長い人生を充実したものとして過ごせるかどうかは、社会でどんな風に生きていくかによって変わってくる。その社会での生き方を決めるポイントが将来の仕事だと言える。

世の中には、君が知らない仕事もたくさんある。様々な仕事の中身を調べてみよう。特定の学部に進学しないと就くことができない職業もある。

|   | 就きたい職業 |
|---|--------|
| 1 |        |
| 2 |        |

そこで、**四谷学院「学部学科がわかる本」**を参考にしよう。

## 【ポイント2】学びたいことを考える。

進学後の生活の中心は、そこでの学びの時間だ。進学後の生活を充実したものにするためにも、自分はどんなテーマに興味があるのか、どんなことが学びたいのかをしっかりと考えておくことが必要だ。

進学先で学ぶ内容は、高校までの教科・科目よりはるかに多様で奥深い。これから進路を考える中でいろいろな学問について調べ、自分が興味を持って取り組めるものを見つけていこう。

|   | 学びたい学問 |
|---|--------|
| 1 |        |
| 2 |        |

「逆引き大学辞典」の学問内容リサーチを参考にしてみよう。

## 【ポイント3】好きな教科・科目から考える。

好きな教科・得意な教科を目安に文理を考える方法もある。今得意であれば、勉強にも取り組みやすいというメリットがある。

ただし、「苦手からの逃避」は絶対にやめること。例えば、「数学が苦手だから文系にしよう」などという選択がそれに当たる。文系でも、国公立大学を受験する場合は共通テストで数学は必須だ。また、苦手科目を避けていると志望校の選択肢を狭めることになる。苦手科目を克服することで、進路選択の幅が広がるのは言うまでもない。

|   | 好きな教科・科目 |
|---|----------|
| 1 |          |
| 2 |          |

## 【ポイント4】自分の興味・関心から考える。

君は毎日の生活のどんなところに楽しさを感じているだろうか？学校の授業はもちろん、趣味や部活動など、日常生活で楽しさを感じる瞬間から、その楽しさを将来の仕事に結びつけられないか考えてみよう。

また、君の得意分野は何だろう？勉強以外でも、パソコンに詳しい、誰とでも仲良くなれるなど、よく考えればいろいろあるはずだ。君の得意なことが社会でどう生かせるのかを考えることも、進路を見極めるポイントになる。

その時注意したいのは「思い込みだけで選んではダメ」ということ。例えば、環境問題に興味がある場合でも、環境問題を解決するための政策や制度について勉強したいのなら「文系」になるし、解決のための科学技術について勉強したいのなら「理系」となる。「環境問題は理系っぽいから」など、思い込みだけで文理を決めないようにしよう。

|   | 自分の興味・関心 | 興味を持っている理由 |
|---|----------|------------|
| 1 |          |            |
| 2 |          |            |

## 〈文理選択希望 予備調査用紙記入に向けて〉

学びたいことが見つかったら、それが学べる大学を探していこう。その際も「逆引き大学辞典」の学科逆引き大学辞典が役に立つ。私立大学まで含めると膨大な数になるので、まずは国公立大学の中から探そう。

その際、右にあるように、文理融合型の学問分野もあるので、注意しよう。また、入試科目のチェックも欠かせない。本日配布する「受験校決定 PERFECT BOOK」を使って、探し出した大学の入試科目を調べよう。特に、大学入学共通テストにおける理科には注意が必要だ。「〇〇基礎」と「基礎」のつく科目は文系でよいが、「基礎」のつかない科目の場合は理系に進む必要がある。必ず複数校調べた上で、慎重に検討していこう。

文理別・学部の例



(ただし、看護学部は文系からでも理系からでも進学可能な大学もある)